

実践記録

学校名 / 学年	小学校 / 5 年	
教科等：単元名	学級活動：「ネットモラルを知ろう」	
キーワード	個人情報 ネットモラル	
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	■ 情報社会の倫理 □ 法の理解と遵守 ■ 安全への知恵 □ 情報セキュリティ □ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	b : 情報に関する自分や他者の権利を尊重する。 e : 情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目番号 中目標項目内容	b3-1: 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する e3-2: 自他の個人情報を、第三者にもらさない
授業会場	■ パソコン教室 □ 普通教室 □ 特別教室〔 〕 □ その他〔 〕	
学習の目標	ネットを使う上で、相手や自分が不快な思いをしなくても済むような心づかいや情報漏洩の危険性についてのスキルアップをねらう。	
使用教材	教材名	みんなでチャレンジ！ネットあんぜんクイズ
	製作者	N T T 東日本
	入手先（URL 等）	http://www.ntt-east.co.jp/kids/anzen/index.html

○ 展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 インターネットなどで、メールをしたり、昨年度までの共同学習を思い返し、ネット上での表現の様子を振り返る。	・自分の書きこんだ言葉が、相手にきちんと伝わっているのかを考えたり、伝わらなかったりした経験があれば語らせる。
展開	2 クイズをひとつずつして、その感想を語り合う。 （１）個人情報の漏えいに関して。 （２）相手に思いが伝わらない事に関して。	・経験やクイズ結果を語り合う中で、ネット上誰でも見られるものに個人を類推させてしまったことがないか考えさせる。 ・文が短すぎて、意味がわからなかったり相手に思いが伝わらなかった経験を思い返す。
おわり	4 感想を語り合う。	インターネット上だけでなく、自分の普段の生活の面でも考えたい事だとの認識を持つことができたか。

○ 授業の成果

- ・頻繁にインターネットにアクセスしたりする子どもは少ないが、教室での雑談の上では、ショッピングの話題や、ブログの話題もある。そうした子どもたちは、ネット上の危険な面を多少なりとも知ることができたとの感想を書いている。

○ 指導のポイント・留意点

- ・情報漏洩についての危険をしっかりと知らせること。
- ・言葉遣いについては、特にデジタル上では無機質になり、相手を傷つけてしまうこともありうるが、実際の生活においても、十分注意していきたいとの道徳的な立場もとして指導した。